

令和5年度 狛江市教育委員会連携事業実施報告

佐竹 弘靖 (ネットワーク情報学部教授)、齋藤 実 (文学部教授)

1. 狛江市教育委員会との連携協定の締結

専修大学スポーツ研究所と東京都狛江市教育委員会がスポーツや教育分野に関する連携・協働に関する包括協定を締結した。締結式は2023年6月5日に生田キャンパスで行われ、佐藤所長と柏原教育長が協定書にサインを交わした(写真1)。

スポーツ研究所では、これまでに前所長の佐竹弘靖顧問が狛江市教育委員会主催の「狛

市スポーツ推進講演会」で講師を務めたり、また相澤所員による市民調査に狛江市が協力をするなどの事業に取り組んでいた。今回の協定においては、(1) スポーツ及びスポーツ医科学研究・教育に係る人的交流の促進に関する事、(2) 人的・知的資源及びスポーツ施設等の物的資源の相互活用に関する事、(3) スポーツ医科学研究・教育に係る調査研究及び事業の共同実施に関する事が明記され、更なる連携の強化が期待される。

2. 連携事業

1) スポーツ推進講演会

スポーツ研究所では、2022年度2回の講演の協力を行なっている。2023年度においても「近代スポーツの先駆者達」をテーマに、2回の講演協力を行った(写真2)。

(1)2023年度スポーツ推進講演会<第1回>
「近代スポーツの先駆者達 -夢に向かって泳いだ乙女「前畑ガンバレ!」-

日本女子水泳界が世界で注目される魁となった前畑(兵藤) 秀子。不幸や困難を乗り越えオリンピック金メダリストとなった足跡と、7月に開催される世界水泳の歴史や日本選手達の活躍を展望する。

日時：令和5年6月25日(日) 10:00～12:00

場所：狛江市役所特別会議室

講師：佐竹弘靖スポーツ研究所顧問(ネットワーク情報学部)

(2)2023年度スポーツ推進講演会<第2回>

「近代スポーツの先駆者達 -日本ラグビー揺籃期を支えた勇者たち-

日本ラグビーの歴史は、明治32年に始まる。ラグビーが日本の地で発展していく支えとなったのは当時の大学生ラグーマン。日本ラグビーはカレッジスポーツとして栄え、今日まで継承されている。その足跡を辿るとともに、目前に迫るワールドカップで活躍する桜戦士の勇姿を語る。

日時：令和5年8月27日(日) 10:00～12:00

場所：狛江市役所防災センター4階

講師：佐竹弘靖スポーツ研究所顧問(ネットワーク情報学部)

2) 親子向けスポーツ講座

講演会名：「狛江スポーツフェスタ2023 -マイスーツを見つけよう!-

日時：令和5年8月24日(木) 9:15～15:50

場所：狛江市民総合体育館(狛江市和泉本町三丁目25番1号)

対象：狛江市在住の小学4～6年生及びその保護者

周知方法：広報、チラシ、HP等(写真3)



写真1) 東京都狛江市教育委員会との連携協定式

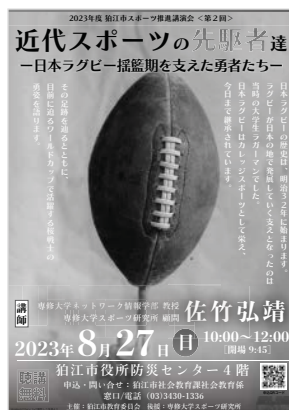
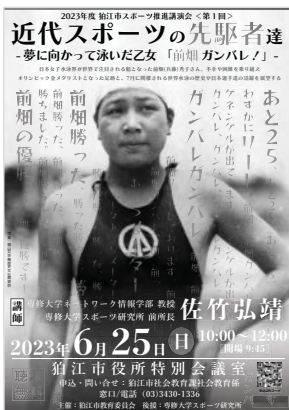
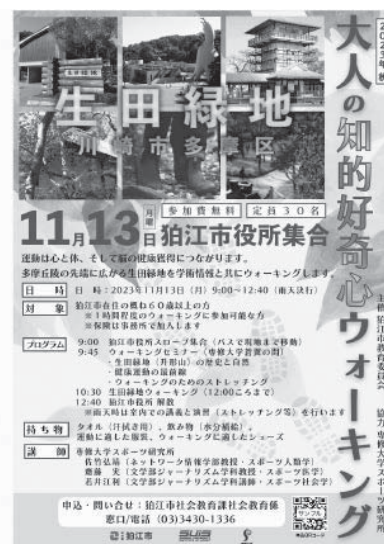


写真2) 狛江市スポーツ推進講演会「近代スポーツの先駆者達」

実施種目:サッカー、レスリング、バレーボール、卓球、バスケットボール、チアリーディングの他、ポッチャ等ミニゲームコーナー
同時開催:「子どものためのスポーツ食事学」(保護者向け)

講師:専修大学スポーツ研究所李宇諤所員(専修大学文学部教授、元サッカー韓国代表、元Jリーガー、前大学サッカー日本代表監督)、専修大学体育会よりレスリング部・男子バレーボール部・男子卓球部・男子バスケットボール部、専修大学全学応援団チアリーダー部BLASTS、専修大学兼任講師(管理栄養士、公認スポーツ栄養士)



○実施内容

本格的にスポーツを始める前の児童を対象に、日常体験できないスポーツに触れる機会を設け、スポーツを楽しみ、生涯スポーツを見つけるためのきっかけづくりとして多種目から選べるスポーツフェスタを開催した。また、保護者に対しては、スポーツに取り組む児童の姿を間近で観覧し、家庭内でのスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツに励む児童の食事について知見を深めるための相談会を企画した。

専修大学のトップアスリートおよび学生ボランティア62名とその指導者、教員、狛江市スポーツ推進委員を本市体育館に招き、サッカー、レスリング、バレーボール、卓球、バスケットボール、チアリーディングのスポーツ教室と、ポッチャ等のミニゲームコーナーを展開、本格的に運動を始める前の児童が各種スポーツに興じた。また、保護者向けとして、プロスポーツ選手の栄養指導も担当している講師によるスポーツ栄養セミナーも開催された(写真4)。

スポーツ教室では、それぞれの種目の指導のほか、パフォーマンスの披露や参加者と大学生を交えたミニゲームが行われた。夏季休暇中のウィークデーでの開催であったことから、予定定員の参加者は埋まらなかったが、参加した小学生とその保護者からは好評を得ることができた。参加した小学生に対するアンケート(シール貼付式)の結果、全ての参加者において、「楽しかった」との評価が得られた(写真5)。多くは「スポーツは好き」との回答であったが、注目されるのは好き・嫌いの間層で楽しかったとの回答が得られた点であった。また、マイスポーツの有無では81.2%が「ある」、18.8%が「なし」との回答であった。今回は、すでに何らかのスポーツを行っている参加者が多かったと考えられる。一方、やってみたいスポーツとしては、バドミントン、野球、卓球に多

写真3) スポーツフェスタ、ウォーキング教室のポスター

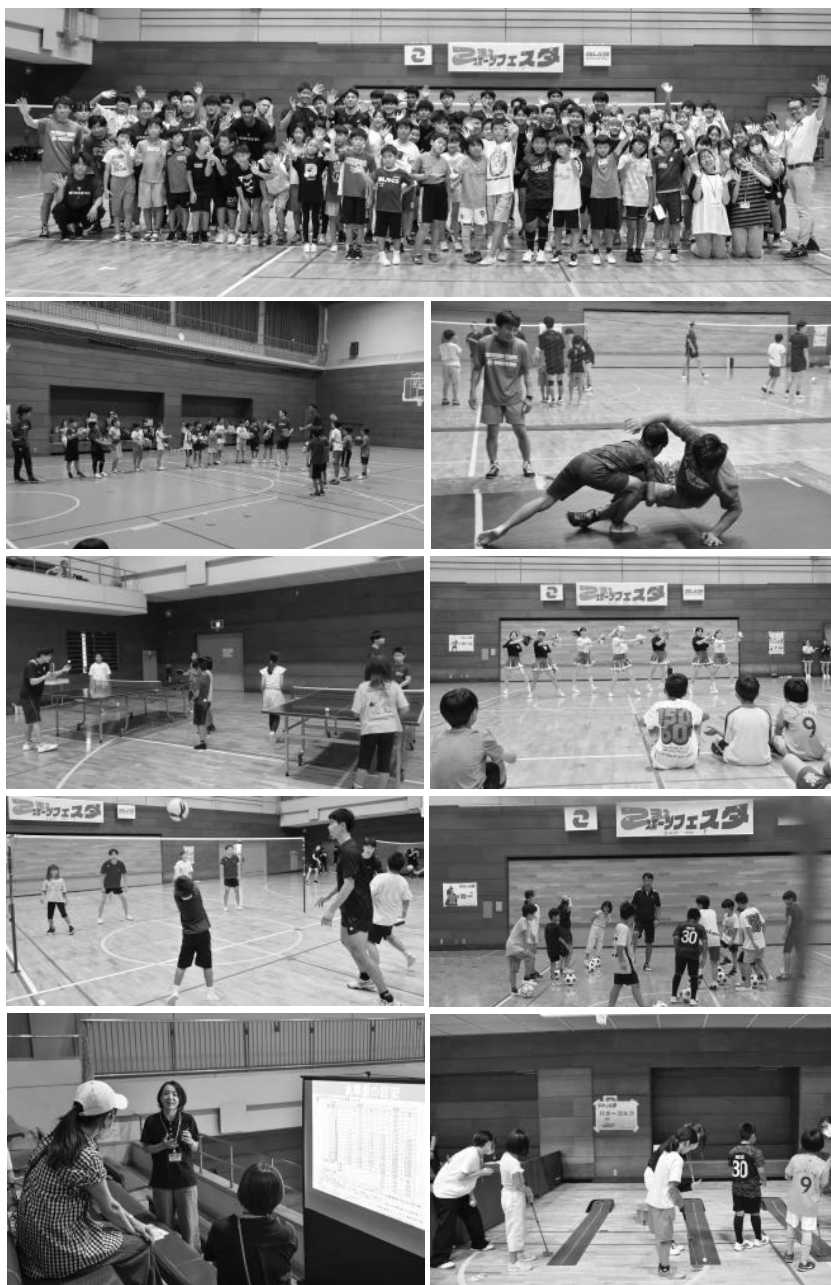


写真4) 子ども向けスポーツ講座「狛江スポーツフェスタ2023」

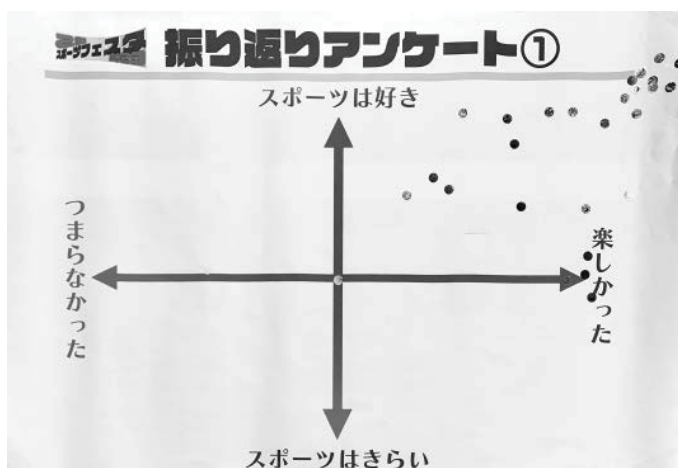
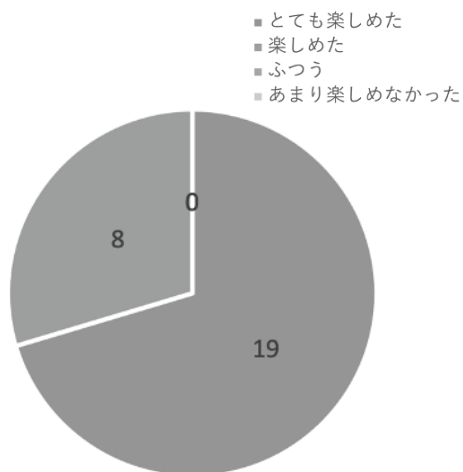
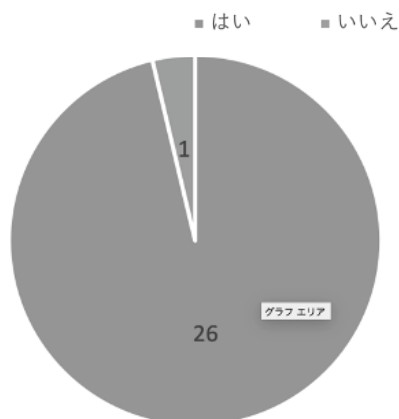


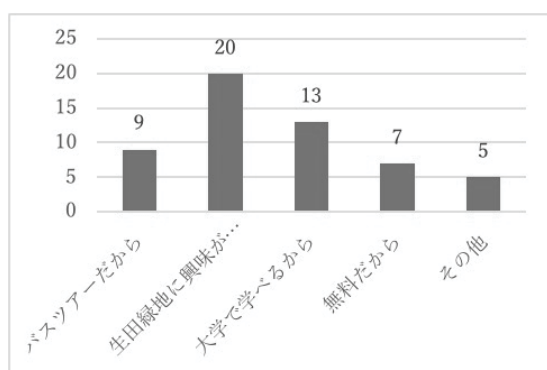
写真5) スポーツフェスタ参加小学生のアンケート



今日のウォーキングは楽しかったですか？



本日参加して、運動をしてみよう、(すでに運動している方は) 続けようという気持ちになりましたか？



行ってみたいと思った理由はなんですか？
(複数回答可)

- ・ とても有意義で楽しい企画をありがとうございました。これからも色々な企画を立ててくださいますよう宜しくお願い致します。
- ・ 生田緑地がこんなに広いと思わなかった。
- ・ とても良い気晴らしになりました。次回もよろしく。資料もたくさん頂き、ありがとうございました。
- ・ 時間等、たいへん手頃で良かった。レクチャーも。
- ・ 環境の良い所でまた近いため、これからも何回も来たいと思いました。今日は説明など丁寧で良かったと思いました。ありがとうございました。
- ・ 知的好奇心ウォーキングの名前のとおり、頭も身体もとても楽しませて頂きました。ありがとうございました。
- ・ 講義面白く勉強になりました。ありがとうございました。色々な季節にまた企画して頂けたら参加希望致します。
- ・ 有料でもこのような企画は参加させていただきたいと思える内容で良かったです。生田緑地は初めて来所したので何かも感動し、こんなステキな場所があることを知り、また来たいと思いました。(家族・知人にも教えたい。)

その他ご意見やご感想があれば
ご自由にお書きください。

資料1) 「大人の知的好奇心ウォーキング」アンケート

くの回答がみられた。

次年度においては、開催日程と周知方法について、狛江市諸機関と連携をしながらより多くの小学生と保護者に周知できるよう工夫したい。

3) 高齢者向けスポーツ講座

講演会名：「専修大学の先生と行く！大人の知的好奇心ウォーキング」

日時：令和5年11月13日(月) 9:00～12:40
(9:00 狛江市役所集合、9:45 講義開始)

場所：専修大学生田キャンパス(川崎市多摩区東三田2-1-1)、生田緑地

対象：狛江市在住の60歳以上(1時間程度のウォーキングの可能な方)

周知方法：広報、チラシ、HP、Twitter、商工会DM等(写真3)

構成：ミニ講義(45分)①生田緑地(枳形山)の歴史と自然、②健康運動の最前線、③ウォーキングのためのストレッチング、④ウォーキング(90分)、⑤情報提供「生田緑地の魅力」

講師：専修大学スポーツ研究所佐竹弘靖顧問(専修大学ネットワーク情報学部教授)、齋藤実所員(文学部教授)、若井江利所員(文学部講師)、生田緑地マネジメント会議松岡嘉代子会長

協力：生田緑地共同事業体越智正夫氏、高木遼子氏、佐竹ゼミナール学生、齋藤ゼミナール学生

○実施内容

狛江市在住の高齢者の健康力の向上を目指し、狛江市近隣の大型公園である生田緑地をフィールドとしたウォーキング教室を開催した。生田緑地に隣接する専修大学生田キャンパスにおいて、専修大学スポーツ研究所所員による生田緑地の歴史やウォーキングに関する講義を行った後、ポールを使ったウォーキングを行った。休憩時間においては、生田緑地マネジメント会議会長による情報提供も行われた。

今回のイベントは、「大人の知的好奇心ウォーキング」をテーマとし、ウォーキングのみならず現地の歴史や魅力、ウォーキングの効果に関する情報提供を併せて行った。専修大学生田キャンパス3号館の7階にある蒼翼の間(そうよくのま)は、枳形山を一望できるロケーションであり、そこを望みながら講義が行われ、その後講師のガイドを交えたウォーキングが約90分間行われた。ゴール地点となった生田緑地ビジターセンターでは、各種資料の配布

と協力をいただいた生田緑地共同事業体による焼き芋も振る舞われた。後に実施したアンケートでは、全ての参加者から「健康を意識しようという気持ちになった」との評を得ることができた(資料1)。

今回のウォーキング教室では、大学からの学術的な情報提供と実際のウォーキングの両方が行われたことから、若干慌ただしくなった点はみられたが、参加者から高い満足度の回答が

得られた。また生田緑地共同事業体の協力を得ることで、ウォーキングコースの安全確認もスムーズに行われた。いくつかの新たな試みは、今後の開催において有益な経験知となろう。



写真6) 高齢者向けスポーツ講座「大人の知的好奇心ウォーキング」